



渡辺 悟
〈あしかが
自民党議員会〉



動画配信中

市民全体へのワクチン接種は
11月末に完了するの！

問 65歳以上の希望者に対する新型コロナウイルスワクチンの接種は7月末に完了する目的が立ったが、市民全体への接種は11月末までに完了できるのか。

市長 64歳以下の場合、仕事に就いている方が多いため、大規模な接種会場を設け、休日に集中的に接種することで中年層と若年層の接種率の向上が期待される。特に中高生は、夏休みを利用してかかりつけ医で接種を受けられるよう、接種券を7月中旬に送付したいと考えている。関係機関と連携して接種機会を確保し、11月末の接種完了を目指していく。

◆(仮称)あがた駅北産業団地の考え方

問 同産業団地が完成する令和8年度まで産業用地の提供ができない状況にあるが、次の開発事業は検討しないのか。

市長 今後は産業用地が提供できない空白期間が生じないように次の手を打ちたいと考えている。本市を含む県南エリアは産業競争力が高いエリアであり、本市が持続的に発展していくには新たな産業団地の開発が必要であるため、全庁的な協議に入り、県の力を借りながら次の開発を準備したい。



柳 収一郎
〈あしかが
自民党議員会〉



動画配信中

新市民会館の建設候補地は競馬場跡地に！

問 多くの大型公共施設の建て替えを控えている本市の財政事情を考慮すると、用地買収や建物の取り壊し費用のない競馬場跡地が新市民会館の建設候補地に適していると考えられるか。

副市長 新市民会館の建設候補地については、複数の候補地から選定してきた経緯があり、それぞれ長所と短所を持ち合わせている。様々な意見があるため、これまで意見を出された方々の想いを大切にしながら改めて精査を行い、候補地を選定したい。

◆次期足利市総合計画の策定

問 第8次足利市総合計画の想定人口に高い目標を設定して、オール足利の姿勢で取り組むことで、以前のような県内で2番目の人口を有する都市を目指すべきではないか。

市長 想定人口については、令和42年に国の推計人口を上回る10万人を維持するという高い目標を設定している。産業界や市民、市議会、行政が一体となり、オール足利の体制で市民が夢を持つことができるまちを目指すために、様々な政策を総動員して全力で取り組むたい。



荻原 久雄
〈あしかが
自民党議員会〉



動画配信中

行政のデジタル化による
業務の効率化を問う！

問 ICTを活用し、申請主義から情報駆動的に届けるプッシュ型に転換することにより、市民サービスの向上につながるかと考えるが、所見を聞きたい。

市長 自治体が保有する情報とマイナンバーを情報連携することで、必要な情報を必要な方へ届けるプッシュ型通知の範囲が広がり、より一層のサービスの向上につながるかと考えている。今後も市民一人一人のニーズに合うサービスの提供を目指し、デジタル化の推進に取り組んでいきたい。

◆ふるさと納税

問 ふるさと納税は、地域の特産物等を返礼品としてPRすることで、地域経済の活性化につながると考えるか。

市長 選挙公約においても、返礼品の拡充を含めて、ふるさと納税制度を積極的に活用することが重要であると訴えてきた。市がリーダーシップを取って同制度を推進することで、新たな特産品の発掘や、生産者や企業の挑戦を後押しできると考えている。また、ふるさと納税を機に、観光誘客や関係人口の創出なども期待されることから、積極的な活用を早急に着手したい。